





# 新入生オリエンテーションを終えて



機械工学科 水城 浩二

僕は、この研修を終えていろいろなことを学びそして、いろいろから見たり、また、その自然の中を走り回わったことです。雄大な阿蘇の自然は生きている。山も草も小鳥もみんな力強く生きていました。そして僕は、その自然の力強さに圧倒されました。

それから、阿蘇青年の家のキヤンダルの集い。真っ暗な体育館

に、ローソクの火がともった時に

は、まるで幻想の世界にいるよう

な気がして、時間のたつのを忘

っていました。そして、就寝前には

新宮高校の生徒とも友達になり、

普通高校と高専のこととかにつ

て話しました。

二日目には、オリエンテーリングがあつて、僕たちは、同じ班の人の名もまだよくは知らないけど、一緒に地図をひろげ、コンパスを使って行動していました。これが

選ばれていて、不安な気持ちでいっぱいでしたが、なんとか無事に終えることができました。また、

キヤンダルのつどいでは、女神と

いう大役をすることになり、不安

より、怖い気持ちの方が大きかつ

たです。途中で、何度も失敗もあ

りましたが、無事に終わつたとき

ホツとした気持ちと同時に、つか

れがどつと出ました。でも、これら

の体験は、とてもいいことをし

たと思います。やはり、何事も、

経験や体験をし、自分がだんだん

と、大きい人間になつていくので

はないかなと思いました。

自由時間では、友だちとバanke

ットボールをしたときが、一番楽

しかつたです。ひさしぶりに、思

いつきドリブルができたので、

とてももうれしかつたです。

オリエンテーリングでは、成績

は、決して良いほうではなかつた

けれども、おつやりたいことは

ないかなと思います。

僕は、立派な技術者に成れるよう

に、がんばりたいと思います。

昭和62年6月25日

## 学生表彰について

### 学生表彰について

#### ○成績優秀賞

#### 卒業学生の中での成績優秀にして、生活態度も含め他の模範たるうる学生各学科一名以内

#### ○成績優秀賞

#### ○成績



郷土資料二ナーの設置

覧室の東側壁面に新らしい書架を設け、「郷土資料コーナー」として福岡県を中心熊本・佐賀・長崎太分各県を含む北・中九州地域の歴史や社会・文化等に関する図書を集め別置することにしました。予算の関係で関係図書を十分に購入することができず、いたって貧弱な内容のものでしかありませんが、郷土のことを調べるときにはせいぜいよく利用して下さい。

## 昭和61年度学科別貸出図書冊数調

(延入館者数 23,248人  
開館日数 296日)

学科	学年	利用人	貸出冊数	内訳									
				000 総記	100 哲學	200 歴史	300 社会	400 自然	500 工学	600 産業	700 芸術	800 語学	900 文学
機械工学科	1	89	119	5	1	32	7	15	12	0	14	0	33
	2	94	150	1	4	4	3	21	55	0	15	0	47
	3	70	86	1	1	3	2	11	41	0	4	0	23
	4	142	232	7	0	2	4	33	170	0	2	9	5
	5	88	129	4	2	14	6	12	74	0	6	2	9
計		483	716	18	8	55	22	92	352	0	41	11	117
電気工学科	1	182	241	5	2	4	7	69	23	1	57	3	70
	2	223	309	2	6	7	13	46	132	0	14	3	86
	3	305	490	14	7	4	2	95	241	0	34	1	93
	4	371	554	25	2	3	8	32	448	2	8	3	23
	5	457	653	23	8	12	32	49	461	9	28	0	31
計		1,538	2,247	69	25	30	62	291	1,305	12	141	10	302
工業化学科	1	315	430	20	9	37	26	92	15	2	24	28	177
	2	124	176	3	8	3	0	66	16	0	28	4	48
	3	171	261	5	5	3	14	192	11	0	2	1	28
	4	142	232	13	10	10	22	90	48	6	8	2	23
	5	172	228	0	4	10	7	97	48	1	2	2	57
計		924	1,327	41	36	63	69	537	138	9	64	37	333
建築学科	1	142	204	2	6	31	5	55	20	0	27	4	56
	2	238	379	3	11	13	4	29	82	0	74	4	158
	3	145	176	3	1	8	7	35	62	0	9	1	56
	4	199	299	2	0	13	8	0	227	0	7	0	42
	5	282	460	9	0	9	5	6	401	0	9	0	21
計		1,006	1,518	19	18	74	29	125	792	0	126	9	326
合計		3,951	5,808	147	87	222	182	1,045	2,587	21	372	67	1,078

(図書館運営委員)  
機械工学科 小田 明  
電気工学科 近藤誠四郎  
工業化学科 渡辺 徹  
建築学科 松島 寛治  
一般科 花田富二夫

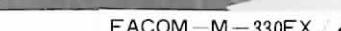
昭和62年度  
図書館長 丹後 杏一

書館入

一般科  
塚本 邦重  
(事務部)  
庶務課長 澄添 光弘  
岡書係長 宮川 喜昌  
戸上 清子  
宮本美沙子

子子弘重九

昭和六十一年度 待望の教育用電子計算機の更新と情報処理演習電子計算機室は発足以來十二年目に新鋭のシステムに一新された。新教育用電子計算機は昭和六十年六月に発表された最新の F A C O M M-133〇F X モデル 4 が選定され、5 MB の主記憶と一・七八四 GB の容量の磁気ディスクが実装されている。OS は OSIV ∕ X 8 FSP が使用され、従来より共用中の F I M M-133〇F システムに対し主記憶は実質 2 倍、補

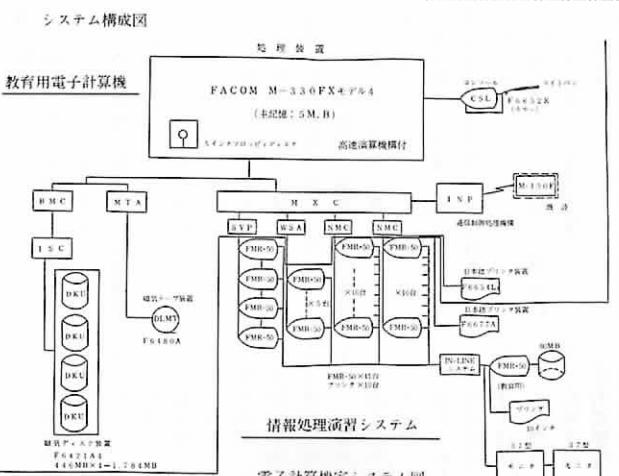


YASCOM M-500 (A) - 4



情報処理演習システム

昭和六十一年度 待望の教育用電子計算機の更新と情報処理演習システムが共に予算化され、本校電子計算機室は発足以來十二年目に新鋭のシステムに一新された。新教育用電子計算機は昭和六十一年六月に発表された最新の F A C O M M-1330 FX モデル 4 が選定され、5 MB の主記憶と一・七八四 GB の容量の硬気ディスクが実装されている。OS は OSIV ∕ X8-FSP が使用され、従来より其用中の FIM-130F システムに対し主記憶は実質 2 倍、補助記憶は実に 4 倍の大容量であり CPU の高速化と相まって処理速度の改善が期待されている。FIM-130F とは通信制御処理機構を通じて接続し相互のデータを協調的に送受信することが可能である。この計算機は CPU を一ポート化し、高処理能力化され、また高速演算機構により浮動小数点演算が高速化されており科学技術計算用としても高速高性能の汎用機である。



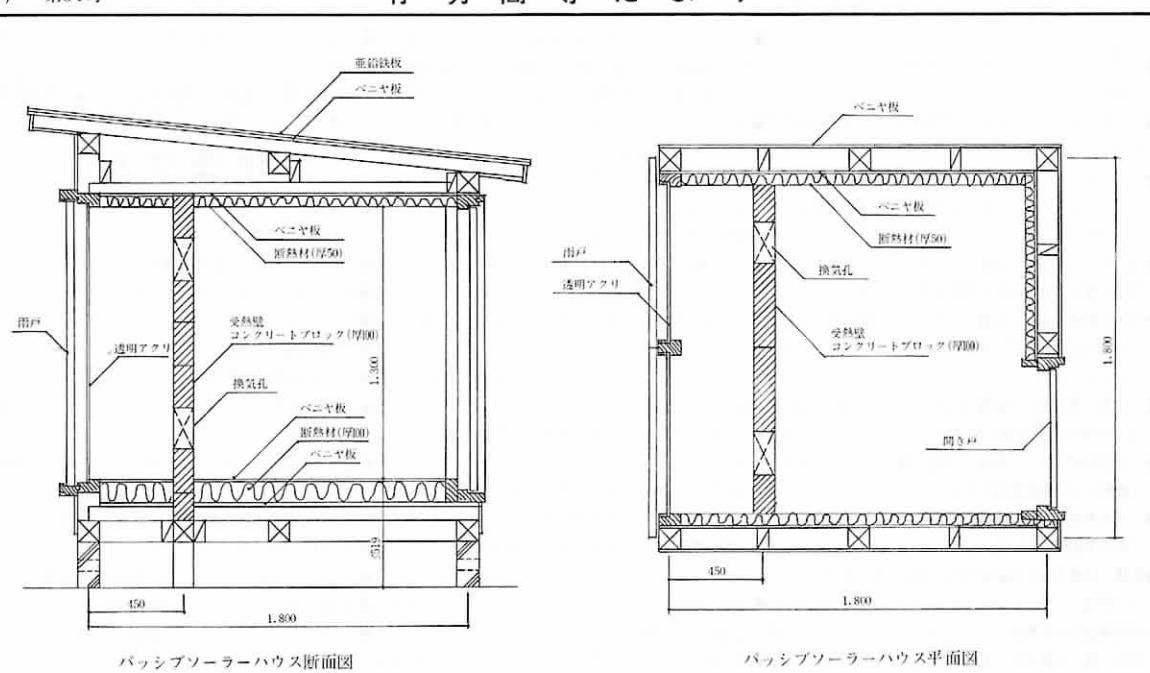
スプリンタも補助出力として使用可能である。

一方、情報処理演習システムは六十一年度の特別設備として設置されたシステムであり、新鋭の十六ビットパソコン四十一台を教育用ネットワークにより結合されたシステムである。このシステムは、教育用電子計算機のインテリジェントな端末として、また教育用としてのパソコンシステ

る。パソコン  
ーと同一メ  
R-150を四  
のパソコンは、  
表された新鋭  
未機能につい  
ては、ソニ  
ー形態の  
で、IN-1「IN  
信、教官呼出  
が具備され  
ークを利用し  
発展を念願し  
新システムの

としてはホストマシンの導入のため、電子  
カードの富士通製の二十一台設置した。こ  
れでも十分に配慮され、コンネットワーク  
教育用ネットワークを「日本」と称し、動画像や  
音声転送、個別送受信機能等を備えている。  
このネットワークの情報処理教育の

更した。右にシステム図および配置図を示す。使用可能な言語は從来のFORTRAN, PASCAL等の他BASIC, Turbo PASCAL等により教育も開始され、放課後、休み時間等、電算室に集う学生数も次第に増加の傾向にあり、今後新システムの効果が期待される。なお、このシステムを利用したC A Iによる教育も計画されている。終りにこのシステムの導入に当たり、校内外の多くの方々に御援助を戴いた。ここに記して深く謝意を表します。



パッシブソーラーハウス断面図

パッシブソーラーハウス平面図

本年度行つた実験のうちで、主としてパッシブソーラーシステムについて説明する。パッシブソーラーシステムとは、アクティブソーラーシステムとは、集熱器やポンプを利用したソーラーシステムであるが、パッシブソーラーシステムは、その物を用いず、建物全体が受熱体となつて太陽熱を利用するシステムである。

機械力を利用せず、対流、放射伝導の熱原理によつて太陽熱を集熱、蓄熱、放熱し、室内環境を快適に保つシステムである。

南向きの部屋の暖かさを家全体に行きわたらせるシステムとも考へることができる。しかし日があたりすぎると暑すぎるし、建物の断熱が充分でないと底冷えのする建物となつてしまふ。

パッシブソーラーシステムそのものは特に目新しいことではなく昔から考へられて来たことである。

では、どうして新しい名前をつけて再登場したのであらうか。つい最近まで、よい建物とは機械装置を使つて、夏は冷房し、冬は暖房して、快適な温度にコントロールし、内部空間を快適に出来るものと考えられて来た。

ところがエネルギー危機が叫ばれるようになつてからは、このよ

うに、色の黒いじゅうたんを敷くようになるとよい。壁蓄熱の場合

は水をガラスチューブやドラム缶に入れて利用してもよい。

エネルギー危機以来、省エネルギーの考え方が定着し、エネルギーを使はないで建物の暖をとるパ

シブソーラーシステムは時にかくなつたものと言うことができよう。

パッシブソーラーシステムにはどのようなものがあるのだろうか。そのいくつかを紹介する。

直接熱取得方式……この方式は日射を直接居室の中まで入れて蓄

熱部である床や壁を暖め、日射がなくなると逆に床や壁で蓄熱した

熱を放出し、暖房するシステムである。蓄熱は昼行い、放熱は夜行

うと具合がよい。つまり直射日光が当る暖かい日に蓄熱し、寒くなる夜に放熱し暖をとるようにする

のである。蓄熱する部分はコンクリート、水、あるいは潜熱蓄熱材などが使われている。

床蓄熱でコンクリートの場合、コンクリートを30cm位打ち、その

上に、太陽熱をよく吸収出来るよ

うに、色の黒いじゅうたんを敷くようになるとよい。壁蓄熱の場合

は水をガラスチューブやドラム缶に入れて利用してもよい。

蓄熱屋根方式……この方式は屋根に水袋や水筒を置くというものである。水袋や水筒の上面に断熱材で蓋をし、日射集熱する時は、こ

の蓋を開け、水袋や水筒に日射をあて蓄熱し、夜になると蓋をしめて、室内を冷房するものである。

付設温室方式……この方式の特

色は集熱部が温室になつているこ

とである。部屋の南面に温室を作り、温室の床を集熱部としたものである。

以上のように色々な種類のパッ

シブソーラーハウスがある。

昭和六十年度、六十一年度にお

いて、壁蓄熱方式のソーラーハウスを製作し、実験を行つた。作つたソーラーハウスは1m80cm角の

平面で天井高1m30cmである。木造の建物で、外面はベニヤ板を貼り、内面はベニヤ板の上に断熱材を貼り、断熱性をよくしている。

集熱壁はコンクリートブロックで厚100cm、太陽光線を受ける面は、黒

太陽熱をよく吸収するよう、黒

太陽熱をよく吸収するよう

## 同窓会だより

## 有明高専だより

昭和62年6月25日

## 教室通信

## 機械工学科

4月入社した新卒の諸君は元気で仕事に励んでいます。俗に5月病ということがある。清新の気がや、もすると薄れゆく頃、感傷に流されないでもう一度冷静に自分自身を、そして周囲を見直し、元気を出すことが必要ではないだろうか。

第1期生の諸君は随所で管理職につき、重みを増しつつある。卒業生諸君、どうかそれぞれの仕事場で今年も充実した毎日を送り給え、とひたすら祈るものである。

さて、五月の連休明けは本校同窓会の理事会が開かれる時期である。今年も5月9日(土曜日)に第4回同窓会理事会が大会議室で開催された。

以下、理事会の内容について簡単に報告する。

○名簿発行延期について: 61年度は理事会の申し合せにより同窓会名簿の改訂版を出す予定であった。(3年毎に名簿を出すことにしていたため)しかし、間隔が近過ぎると購入希望者が少いという心配が多く、見送りとなつた。

○「高専だより」62号発送の事故について、発送業務委託を受けていた凸版印刷熊本営業所の秋明によれば、下請業者の不手際から一部発送分が処理不明と判ったため、詫び状同封の上、再度卒業生会員に62号を発送することで許しを得たいとのことであった。

○「高専だより」一回目は62年3月に発行された。そこで、5月9日の理事会に凸版の担当者が出席し、その旨説明し、感謝し了解を得るよう求めた。当日、その通り行われ、一件落着となった。既に会員諸君には再発送分が届いている筈である。

○学科増設協力について、昨今の世界的な情勢と将来の展望から本校も電子情報工学科の増設を本省に申請したこの件の実現のため、既に大牟田・荒尾両市を始め、産業界からも積極的な協力の動きがあることに呼応し、同窓会としても、会則の趣うところに則り、出来るだけの協力をすることが理事会で了承された。

○本会理事重村栄氏、荒尾市市会議員に当選、過日行われた統一地方選挙で、工業化学科第3回卒業の重村栄氏が初出馬、最終健斗し、第3位の好成績で当選した。氏は「有明高専への恩返しのために頑張りたい」と同窓生の応援に対する御礼と共に抱負を語っていた。

○名簿の件で一言触れた通り、来年63年は本会誕生20年の年である。そこで新年の適当な日を定めて20周年を祝うことを企画している。具体的なことはいづれ「高専だより」でお知らせすることになる。

紙面の都合で、以上極く簡単に理事会の報告をした。時節柄、会員諸君の健康を心から祈っている。(品川)

## 電気工学科

※次の方々が結婚されました。おめでとうございます。

●溝上秀徳君 (56) ○60.9.15 結婚 (新婦初美さん)  
○〒333 崎正県川口市共塚原1丁目7-28 富士見ハイツ  
403号 田0482-61-4464

●月田俊介君 (56) ○62.2.8 結婚 (新婦静代さん)  
○〒365 大牟田市中町2丁目9-10 恵比須ビル605  
田054-0459

●北浦政人君 (52) ○62.4.24 結婚 (新婦恵子さん)  
○〒811-02 福岡市東区和白丘1丁目21番1-805号  
スカイハイツ和白丘東館 田092-608-0197  
(取締)

※次の方が結婚されました。おめでとうございます。

●原田真澄君 (51) ○62.2.14 結婚 (新婦瞳さん) ○〒  
063 札幌市西区八軒3条西4丁目3番10-22 田011  
-644-2647

●桐明秀樹君 (52) ○62.4.19 結婚  
●島崎敬祥君 (54) ○62.5.2 結婚 (新婦美佐子さん)  
●宮崎徹君 (55) ○62.4.26 結婚 (新婦郁子さん)  
●森田裕二君 (55) ○62.2 結婚 ○〒433 浜松市高丘町  
名簿を出すことにしていたため)しかし、間隔が近過ぎ  
ると購入希望者が少いという心配が多く、見送りとなつた。

●杉本隆君 (55) ○62.4.12 結婚 (新婦美幸さん)  
●福山敏行君 (56) ○62.2.8 結婚 (新婦美恵子さん)  
●小林修二君 (53) ○転職 日本ソフト技研(株)  
○〒807 北九州市八幡西区陣原4丁目14番22号 杉野  
コーポ 田093-301-6898

●松藤輝雄君 (48) ○転職 L.S.I テクノロジー技術部  
○〒184 東京都小金井市桜町1-9-12 第2丸信マンシ  
ョン301号 田0423-85-8701

●溝上秀徳君 (56) ○転職 高千穂電機(株) ○〒333  
埼玉県川口市共塚原1丁目7-28 富士見ハイツ403号  
田045-862-0055

●池脇賢一郎君 (43) ○〒658 神戸市東灘区岡本4丁目  
6番3-108  
●工藤詩生君 (60) ○転職 筑紫野市原田郵便局 ○〒  
833 嵐後市大字鶴田450-4 田0942-52-8250

●福島壽彦君 (48) ○転職 日本化成(株) ○〒  
811-41 宗像市田久1212 高原様方  
壳第4課 (〒52 爱知県西春日井郡春日村大字落合子  
長袖1番地 田052-400-5151) ○〒492 爱知県福沢市  
国富宮4-5-10オレンジハウス1-C 田0587-32-6943

●山下弘君 (50) ○転勤 豊田合成(株)第2営業部販  
売第4課 (〒52 爱知県西春日井郡春日村大字落合子  
長袖1番地 田052-400-5151) ○〒492 爱知県福沢市  
国富宮4-5-10オレンジハウス1-C 田0587-32-6943

●小宮健雄君 (52) ○転居 〒244 横浜市戸塚区平戸町  
357番地 田045-824-7375 □いすゞ自動車(株)  
エンジン技術部 ○〒140 東京都品川区南大井6丁目22  
番10号 田03-762-1111(内2751, 2755)

●木松宏海君 (55) ○転居 〒810 福岡市中央区荒戸2-4-  
23-1006  
●森慎二君 (59) ○〒29-17 東広島市高屋町大字中島  
108-1 ホテル106号 田0824-34-1051

●池内隆光君 (62) ○〒316 日立市国分町2-1-3 桜川寮  
田0294-33-3720  
●清田博文君 (54) ○転居 〒204 東京都清瀬市松山2-6  
6-28サングリーン清瀬205 田0424-92-4771

●新島伸吉君 (62) ○〒214 川崎市多摩区西生田3-20-9  
田044-955-5055  
●中村寛夫君 (54) ○転居 〒211 川崎市中原区市ノ坪  
346 きさらぎ荘103 田044-434-1107

●下田豊文君 (45) ○転居 〒229 神奈川県相模原市元  
橋本町11番3204 田0427-74-5177  
●木下実君 (62) ○〒800 北九州市門司区光町2丁目  
1-30 田093-371-1315

●木村一博君 (62) ○〒837 大牟田市大字三池444-5  
銀水寮 田0944-54-4648  
●本田貴久君 (62) ○〒664 兵庫県伊丹市東野2丁目18  
星光荘28号

●坂田隆一君 (62) ○〒489 爱知県瀬戸市西長根町27  
河村電器産業男子寮 田0561-82-1983  
●竹原康裕君 (62) ○〒820 飯塚市立岩1003 田0948  
-22-7869

●柿庭健介君 (62) ○転職 横河メディカルシステム(株)  
(株) ○〒191 野市旭ヶ丘6-2-8 新旭ヶ丘寮211号



## 昭和62年6月25日 有明高専だより

昭和62年6月25日 有明高専だより

第64号 (10)

●桜井陽一 (47) ○転勤 株式会社リコー (〒107 東京  
都港区南青山1-15-5) ○〒227 横浜市緑区美しが丘1  
丁目14 田045-903-3812  
●塚本秀幸君 (52) ○転職 新日本鉄道(株) (〒804 北九  
州市戸畠区大字中原先の浜4-51 田093-871-1541)  
○〒803 北九州市小倉北区中井2丁目4-4-101  
田093-581-6680

●西田尚美君 (61) ○転勤 N.E.C. アイシーマイコンシ  
ステム(株) ○〒862 熊本市新南部町203-7 コーポ辰巳  
301  
●堤良則君 (62) ○転職 西日本プラント工業(株) ○  
〒895 鹿児島県川内市宮里町安養寺宮里寮

●畠中弘明君 (62) ○転職 日本ビクター(株) ○〒233 横  
浜市港南区日野3丁目8の1 日本ビクター日野第一寮  
田045-844-4034

●山下恵三君 (62) ○転職 横東芝 ○〒235 横浜市磯子  
区汐見台2-8-2 東芝電子第六寮C-51-3 田045-761-7676  
●広田折也君 (59) ○転居 〒290 千葉県市原市辰巳台  
東3-27-2 向陽寮 田0436-74-5112

●吉原稔暢君 (62) ○転職 三菱重工(株) ○〒852 長崎市  
文教町3-57 田0958-44-3118  
●山中英樹君 (62) ○転職 菱電サービス(株) ○〒187 東  
京都小平市天神町1丁目384-1

●古賀直靖君 (61) ○転居 〒424 静岡市清水市三保  
858 三井デュボンフロコミカル三保寮  
●田中功君 (58) ○転居 〒145 東京都大田区田園調  
布南9-2-32 田03-756-5103

●山中英樹君 (62) ○転職 菱電サービス(株) ○〒187 東  
京都小平市天神町1丁目384-1  
●古賀直靖君 (61) ○転居 〒424 静岡市清水市三保  
858 三井デュボンフロコミカル三保寮

●田中功君 (58) ○転居 〒145 東京都大田区田園調  
布南9-2-32 田03-756-5103  
●溝上康二君 (61) ○転居 〒940-21 長岡市上富岡町355  
岩室莊 田0285-67-6745

●吉原稔暢君 (62) ○転職 昭栄化学工業(株) ○〒190  
(以上60) 下田辰二、中村剛直、弘島正二郎 (以上61)  
石藏貴、梅崎誠、幸田芳典、古賀雅典、本庭知男  
柿庭健介、野田政佳、畠中弘明、山下恵三、山中英樹  
吉原稔暢 (以上62)

※学校來訪者(敬称略)  
植木勝、小路和彦、福島寿彦(以上48) 山本勝喜(53)  
甲木茂也(54) 松藤稔(57) 岩下展之、角明博(以上  
58) 佐藤修司、福島匡浩(以上59) 北原晋一、西川哲夫  
(以上60) 下田辰二、中村剛直、弘島正二郎 (以上61)  
石藏貴、梅崎誠、幸田芳典、古賀雅典、本庭知男  
柿庭健介、野田政佳、畠中弘明、山下恵三、山中英樹  
吉原稔暢 (以上62)

●上原晴君 (62) ○転職 日本IBM(株) ○〒101 東京  
都千代田区神田和泉町1丁目03-865-0702 ○〒124 東京  
都葛飾区東堀切1丁目1-1 レジデンスユタカ301号室  
田03-838-1539

●和田哲郎君 (62) ○転職 ブイチボウアルマ (〒864  
荒尾市増永) ○〒864 荒尾市牛水745-2 田09686-4-  
0013

●江崎佳明君 (62) ○転職 昌和合成(株) ○〒470-02  
愛知県西加茂郡三好町大字萌生字池上

●野添拓児君 (62) ○転職 三菱製紙(株) ○〒124 東京都  
葛飾区新宿6丁目2-1 中川工場) ○〒125 葛飾区東金  
町1-5-2 三菱川奈寮 田03-600-7181

●阿部利広君 (62) ○転職 九州日東電工(株) (〒842 神  
埼郡三田川町大字吉田2307-2 田0952-53-1166) ○〒  
842 神埼郡三田川町大字吉田2499-3

●田中剛君 (62) ○転職 昌和合成(株) ○〒470-02  
愛知県西加茂郡三好町大字萌生字池上

●野添拓児君 (62) ○転職 三菱製紙(株) ○〒124 東京都  
葛飾区新宿6丁目2-1 中川工場) ○〒125 葛飾区東金  
町1-5-2 三菱川奈寮 田03-600-7181

●江崎佳明君 (62) ○転職 昌和合成(株) ○〒470-02  
愛知県西加茂郡三好町大字萌生字池上

●柿庭健介君 (62) ○転職 新日本鉄道(株) ○〒804 北九  
州市戸畠区仙水町2-1 明寮寮 田093-881-2078

●北野博久君 (62) ○転職 岩谷瓦斯㈱ (〒512 三重県  
四日市市霞1丁目8-1 田0593-64-8621) ○〒512 四日  
市市東茂福町8-20 コーポ藤1-3 田0593-65-5163

●富嘉剛君 (62) ○転職 豊橋技術科大 ○〒410 愛知県  
豊橋市天伯町字雲雀ケ丘1の1 学生宿舎C-511号室  
田0532-47-0133

●西山明男君 (62) ○転職 ブイワヨー (〒664 兵庫県伊  
丹市行基町1-5 田0727-72-1101)

●宮崎勉君 (62) ○転職 日本データシステム(株) (〒231  
横浜市中区山下町50-2 横浜昭和ビル5F 田045-641-  
1211) ○〒244 横浜市戸塚区吉田町1000日本データス  
木村龍一 (60) - 笠原信悟 (60) - 永松尚 (60) - 古  
賀明青寮 田045-871-6118

## 建築学科

●近藤輝隆技官が退職されました。長い間ごくろうさま  
でした。

●田中立夫技官が九州郵政局建築部に転勤されました。  
●柿原正治技官が新しく赴任されました。

●北岡敏郎講師が助教授に昇任されました。  
●原田克身助教授が教授に昇任されました。

●三宅泰助教授が5月より国内研究員として九州大学  
で研究されています。

●宮本達夫教官が九州大学より建築史の担当として赴任  
されました。

※次の方が結婚されました。おめでとうございます。

●洞田貴淳二君 (59) ○62.3.1結婚

●重富明子君 (60) ○62.4.18 結婚 (新郎宮崎頼三氏)  
●橋本新一君 (53) ○62.1.15 結婚 (新婦久美子さん)

●中島敏宏君 (52) ○62.5.23 結婚 (新婦慶子さん)

●同窓生の転勤、転職、転居をお知らせします。

●渡辺一美君 (53) ○転勤 新日本鉄道土木建築技術室

●江藤均君 (55) ○転勤 新日本鉄道土木建築技術室

●大津春記君 (51) ○転勤 大林組 東京都杉並区成田  
東4丁目21-3 田03-398-3886

●平塚泰治君 (52) ○転勤 竹工務店開発本部  
〒511 大阪市東区本町4丁目27番 田06-252-1201

●田中功君 (59) ○転勤 新西宮市西度町2-4-106 田0798-67-0757

●長尾祐司君 (59) ○九州石油ガス退社 淳城工務店入  
社

●小野泰彦君 (59) ○柄谷工務店退社 自営

●下村敏明君 (旧姓川原) (51) ○佐賀県庁退職 下村建  
設入社

●浜浜賢二君 (51) ○浜浜一級建築士事務所開設  
〒190 東京都立川市若葉町4-25-33棟-107号  
田0425-37-4873

●荒木祐一君 (58) ○転勤 大分市金池町1-7-1  
N.T.T. 大分支社建築課 田0975-37-6326

●田中功君 (59) ○転勤 大分市新川1-7-363 鳴コボ305  
田0975-38-3577

●日吉良昭君 (57) ○転勤 〒541 大阪市東区本町4-15-1  
-1脚筋本町ビル 清水建設大阪支店設計部 田0662

兵庫県西宮市池田町3-25 清水建設西宮寮 田0798-26-3371

●木村龍一君 (60) ○〒230 横浜市鶴見区岸谷4-31-13  
京浜寮

●龍和宏君 (62) ○〒227 神奈川県横浜市緑区美しが丘  
1-1脚筋本町ビル 清水建設(株) 田045

背負いながら、この岱明寮に勉学の為集まつて来、生活する。自分と同じ人はひとりとしていない。このことを本当に識つて貰いたい。これがわかれれば、多くの志を同じくする者同士が同じ屋根の下で勉強している有り難さが身に沁みてくるはずである。

ややもすると日先のことと目を奪われ、安易な生活を送つてしまいがちであり、不満といらだしさと脱力感とに身も心も包まれてくる。そうならない為には、先ず生活の基本を整えることが必要である。生物は全て体内に生活のリズムを司る時計を持つてゐる。この時計に合わせ、また、必要とする栄養を過不足なくとり、目標を見失わないならば、おのずと体内に気力が漲つてくるものである。生かされて生きているあなたはどうなさる。

という言葉があります。

昨年から今年にかけて、寮関係教職員が一新しましたが、関係者心をおなじうして、寮生の成長を見守つていきたいと思つています。

てで書きましたお二人から玉稿をいただきました。  
寮生に望むこと

寮務主事補 宮本 信明

学校に赴任して十年が過ぎた。その間、学寮についても少しづつは改善されてきた。今年度は朝食をとることと消灯（青葉棟）の徹底を改善の主目標とした。

しかし、相変わらず上級生の寮生活の乱れは多く目に付く。例えば、起床後の点呼の遅れ、ラジオ体操のやる気のなさ、勉強時間帯でも勉強しない。部屋は汚いこと。これらのことは一般論であり、立派で模範的な寮生も多くいる。

このような原因は私なりに考えるに、彼らが未熟であるからである。つまりマナー・ルールを守らない（知らない）子供と一緒になのである。ところが、卒業して社会人になると、マナーやルールが身につき、別人のように変わる。例えば、卒業生が電話してくるとよくわかる。敬語を正しく使い、話の内容もはつきりしている。

このような寮生に、弱力ながら

る。それは年月ばかりではない。  
もう一度思い出そうと岩波新書  
「水俣病」(原田正純著)を読んだ。  
原田氏は口頭弁論の最後に「一  
度破壊された神経細胞の回復は極  
めて困難である。このような患者が  
さん一人についてどれほど多くの  
人々が治療と研究を続けているで  
しょう。一方では、人間によつて  
このような患者さんが大量生産さ  
れているということは、一体我々  
は何をしているのだろうかと思いつ  
同時に怒りがこみあがけてきます。」  
こう言われている。

調理師として十九年余り、後の三年を寮母として、この三月末まで事定年を迎えてましたこと感無量です。

ベテラン寮母さんの後を何もわからず引き受け、当時の玉野寮務主事、主事補および寮務係長さん方には大変お世話になりました。吉松さんは男子学生とは思えない程気立つが優しく親切にして貰いました。寮長は吉松さんでした。吉松さんは早く独りで出来るようにと無我夢中で緊張している私に、「寮母さん落ち着いてネ」「もつと声を大きくネ」「大丈夫〜」等とアドバイスをしてくれました。学生さんと親しく冗談も言えるようになつてからの話です。「風呂の時やコンバの時等よくコントの材料に使つてもらいました。余程滑稽だったのでしょう。しかし、それが却て寮生の皆さんと親しく会話が出来るきっかけになつたのです。

も知つてほしいのです。寮母として僅か三年、やつと仕事も覚えて寮生の皆さんとも親しく語れるようになったのに定年を迎えたのであります。しかし、素晴らしい想い出が出来、心温まる思いで一杯です。健康第一にして仲良くして巣立たれることを願っています。

銀杏棟  
紅葉棟  
**学寮だより**  
青葉棟  
若葉棟

私も生活のマナーやルールを指導し、立派な大人になる手助けをしたいと考えている。

石牟礼道子著「苦海淨土」の中の熊本の方言で書かれた部分は何度読んでも凄惨である。生きしていく為の原点である食の難しさをひしひしと感じています。むせかえるような青葉の季節、この次は——が楽しみです。

かもしません。  
病氣にかかりた一年生が心細く、また気が弱くなり遠慮ばかりして涙ぐんだりしたときとか、盜難があつたときとかが辛い印象として残っています。

毎号、私は雑誌の配達を待ち構えていてそれを読んでいる。六月号のエッセイの副題には「家畠に庭点々」とある。ニュータウンの開発に伴い「麦畠に家点々」が、「家畠に庭点々」と郊外の様相が変容し、そこに出現した明るく美しい機能的な町を眺めて、「わたし自身はそこには住めないと感じた。」という。

「老人の姿が殆んどなく、車が入らぬ日蔭の細道などのない町、腰の曲つた老婆が立ち話しに一時を忘れる姿がなく、孫の手を引き、袂に引きずられてゆく老人の姿が見られぬ町」を彼は「人生の風景のバランス」が欠けた不自然な町と見る。

「時代の流れは停められない」大きなうねりのような社会の動きを冷静に眺めながら、以後の生きる世界は何処に、と近代的機能的な町の姿を前に、彼は考え込んでしまう。

この文章を読んでいると、私は前に何かで読んだと思われることが頭に浮んで来た。私の記憶が確かなならば、その文章を書いた人は

会田鶴次が、「歴史に学ぶ——日本人の『甘さ』への警告」という一文を寄せているの興味深く読んだ。

以下、独創的な下手な要約をしてみる。彼は例の「イソップ物語」の蟻ときりぎりすの話の翻案にヨーロッパと日本の違いがあることを示す。即ち、ヨーロッパでは蟻はきりぎりすに同情を示さないが日本では蟻がきりぎりすを哀れと思ひ、仲良く一緒に暮したとき、という結末をついているという。

ヨーロッパ中世までの歴史は飢餓との戦いであった。或る高名な歴史家はそれを難破船に譬えたのだそうだ。つまり限られた食糧を空き地で、彼等は常に生き残るのかという苛酷な選択と決断を迫られる歴史の中に生きて来たのだ。そして彼等は一夜明けると世界が、つまりは政情が一変していたというシステムの変化に絶えず晒されながら生き残る嚴しさに耐えて来た、という。だから、一旦事が起るならば、ヨーロッパが選択の対象から日本をはずすることは明白かつ当然のことだ。

的経験を経て来た西欧諸国を相手に、今こそ我々は世界的な視野で歴史を見る眼識をもつて真剣に考える時だ、とこの歴史学者は警告する。

城山三郎は小説家の眼で、そして会田鶴次は歴史学者として、我々の現在と未来の生き方、つまりはものの考え方について、問題点と、志向すべき所を暗示しているようと思われる。

鎖国で外圧から身を護ることは出来ない。哲人政治家の出番なのだ。そして我々もテレビの雑薄な芸能番組との付合いは程々に勉強しなくては危いことになりそうだ。国際性を身につけるということは、外国人に迎合することではない。

氾濫する情報の中で、東西世界の古典に真剣に取組み、先賢の言葉や名作に感動する心を養うことは、迂遠のようだが、国際社会に通じる一つの確かな道なのだとと思う。高名な二方の文章を頂き、駄文を連ねた己の中味の貧しさを嘆きつゝ。

として企業にいた私は、炭礦の不況のため希望退職し、職安の紹介にて本校に着任したのが昭和三十九年四月でした。

この年の春は雨が多く、萩尾台に建設中の本校は至る所泥んこで、作業員の人達は、最後の仕上げを徹夜にて作業をしていられたのを今ではなつかしく思われます。以来二十三年、初めは庶務係の駿務員として勤め、四十八年に学生課教務係として、建築学科に配属替えになり今日に至りました。

建築学科では、学生の実験、実習の指導に、又、教官の研究の手伝い等にあたり、私くなりになりました。とかやつてまいりました。

感謝申し上げます。

学校の正門をはいると「おはようございます」という元気な挨拶が次々と聞えてきます。潑刺とした学校全体の雰囲気が伝ってくるようです。

世間では、現代の若者達を、新人類とか、シラケの世代とかの言葉でおもしろおかしく批評し、テレビの画面では、新人類といわれる若者が、なんの届託もなくふざけ、笑っています。

新人類的な生き方が悪いとは一概に言えないが、私は、なにかえらいじめない氣持でテレビの画面を見ています。

世の中一般の生き方が、軽薄になつたといわれる中で、本校の学生の氣風は、質実剛健に近いものではないでしょうか。

本校の校章は、「高専」の文字の両側に不知火の炎で師弟の燃える情熱を表わしています。燃えきかる有明海の不知火は、先輩から後輩へと受けつがれていく学生の情熱であり、より良き校風となつて長くこの萩尾台に培われてほしいと思います。

二二の雑誌から

品川  
尚三

池波正太郎であつた  
彼はこんなことを二  
うに思う。

とそしてアメリカでも日本を必要な仲間とは考えない、ということになりかねぬ、というのだ。

近藤 潤路

萩尾台で感じる事  
学生課長 大久保重幸

この四月に学生課長として赴任

# 学生会だより

ます。例えば、中夜祭バンド野外ステージや四科合同の催し物をやつてみてはどうかと考えています。その他、文化クラブの催し物、バザー、出店、学科展示、ライブハウスなどの企画も立てています。テーマはまだ決定していません。職員の先頭に立つのである。

僕達は昨年の高専大会の反省から体力をつける、ショットに確実性を増す、ダブルスを強くすることを年間の課題にしました。それで冬場に毎日走り、春季合宿ではナーブ、ボン、スコットの

サッカーチーム  
わがサッカーチームは、高専大会へ  
向けて練習に励んでいます。恥か  
しながらここ数年、初戦突破すら  
出来ないほど実力が低迷してます。  
その原因は持久力と精神力です。  
そこから、引き分けどころではない

が3月29日より4月4日までの7日間実施された。  
今年は例年に比べ多人数で134名（昨年は98名）に達し、クラブも硬式野球部・軟式庭球部・卓球部・サッカーブ・バレーボール部・バスケットボール部・剣道部の常連の他に、陸上競技部・ハンドボ

学生会長代行 4 熊野 康彦  
祭実行委員長 A 坂本 圭  
この高専が生まれて、二十四年を迎えて、ここで、昔を振り返りみてはいかがでしょうか。

## 式野球部

我々卓球部は現在部員4名で、

バレーボール部  
はよはよ高専大

## 有明高専だより

昭和62年6月25日

# 学生会だより

最後に合宿が無事終了したことについて、各部の主将・顧問の先生方、ならびに関係の教職員にあつて御礼申し上げる次第である。

ます。例えば、中夜祭バンド野外ステージや四科合同の催し物をやつてみてはどうかと考えています。その他、文化クラブの催し物、バザー、出店、学科展示、ライブハウスなどの企画も立てています。テーマはまだ決定していません。

僕達は昨年の高専大会の反省から体力をつける、ショットに確実性を増す、ダブルスを強くすることを年間の課題にしました。それで冬場に毎日走り、春季合宿ではナーブ、ボン、スコットの

サッカーチーム  
わがサッカーチームは、高専大会へ  
向けて練習に励んでいます。恥か  
しながらここ数年、初戦突破すら  
出来ないほど実力が低迷してます。  
その原因は持久力と精神力です。  
そこから、引き分けどころではない

3月30日から3日間は連日雨となり、一部のクラブでは廊下で筋トレや素振りをする羽目となり、関係者心をいためたことであつた。しかし終りに近い4月2日からやつと天候が回復に向い、学内のあちこちで春の陽光に負けない元気の良い掛け声がとびかい、若い肉体が躍動した。

ちょうど世間では春の選抜と、三井物産の若王子さん救出のニュースがあつて、マスコミが異常なフィーバー振りを示した時期であったが、俗界に無関係にここ秋台には清々しい青春時代があつた。

あるのです。この歴史を閉ざさないためにも、全学生の力で、歴史に刻み込めるような、すばらしい高専祭を、造り出そうではありませんか。

ところで学生のみなさんは、本当の高専祭の意味を知っていますか。高専祭では、学生が作り上げたものを地域社会へ発表し色々な批判を得、今まで以上の向上を目指しているのです。またその目的的を祭りという楽しい雰囲気で包み込んで行うものなのです。現在の実行委員会では、まだ具体的な内容は決定していませんが、例年に見ないプログラムを予定していく

球にはある。新人部員10名を迎えるにはある。新人部員10名を迎えたるに満ち、野球部の62年度の活動が始まつた。本年度は、選手27名、女子マネージャー3名の総勢30名で全国高専大会優賞旗を手にすべく連日白球を追つている。

たが、昨年のメンバーがほとんど残っているので、戦力的には昨年よりも良くなつたと思います。残る2カ月間の練習で、調子のいい状態で試合を行えるようにしそして良い結果を残したいと思います。

**ラグビー部**

我々ラグビー部は高専大会に向けて南コーチの指導のもと練習に励んでいます。

毎年のことながら有明ラグビー部は他の高専と比較すると小柄なため体力負けてしまうのでスタミナをつけ走り回るラグビーで勝負するよう毎日努力しています。

今年は練習試合の数を増やし、

ここ数年、あまり良い成績を残すことが出来ませんでしたが、今年は、チーム独自のコンビネーションバレーで、全国大会出場を手にしたいと、部員一丸となつて頑張っています。

みなさん、応援よろしくお願ひします。

バスケット部

我々バスケット部は、ここ数年後一步のところで優勝を逃していますが、今年は、仁田原先生の御指導のもと「攻めのバスケット」を自分達のテーマに挙げています。

技術面では、まだ未熟ですが、精神面とチームワークでは、どこに

柔道部は今年、一年生が五名入部して現在全員で十五名です。顧問の宮本先生、コーセーの山下先生の指導の下で部員全員が高専大会優勝を目指に一致団結して、毎日気合の入った練習をしています。

今年は去年よりも全般的にパワーアップしているので高専大会で台風の目となることはまちがいないでしよう。

### 剣道部

我々、剣道部は顧問塚本先生、コーセー堀田さんのもとに、部員数16名で毎日練習に励んでいます。

今年、佐世保高専で行われる高専大会まで、あと一ヶ月ちょっとですが、部員全員、一丸となつて優勝めざしてがんばっています。

### 陸上部

陸上競技部38名、全員一丸となりの限界まで練習に励んでいます。有望な新入生が加わり、更大的な陸上部として成長していくます。昨年、全国制覇を成した円盤投の中島をはじめ他の種目でも、九州地区、全国制覇可能な者がいます。目標は大きく、まずは、九州地区高専大会で各種目、総合でも優勝することです。我々は、力の続く限り、力一杯競技することを誓っています。

我がハンドボール部は、今春2年ぶりに合宿を復活し、現在は専大会に向けて個人技からチームプレーまで幅広く練習しています。今年の高専大会は優勝を目指して、部員一丸となつて燃えていきます。

弓道部 私達弓道部は、部員26名で毎日練習に励んでいます。私達の部は例年決勝リーグまでは出場出来ますが、昨年優勝して以来昨年は3位と成績が下がり気味です。しかし、今年は、氣を引き締めて、毎日の練習の成果を生かし、個人戦・団体戦共に悔の残らぬように頑張りたいと思います。

登山部 我々登山部は「九州の山を征服しよう。」を目標に先生2名と19名の学生で構成されています。日頃の活動は、基礎体力づくりと一ヶ月に一回程度の山行けです。現在3年生以下の学生は、六月にあります。固体予戦に備え、毎日、天気図の作成など体力面以外の山男としての常識を身につけるため頑張っています。体力面では自信を持つ入賞もありそうです。

水泳部 我々水泳部は、今春8名の新入部員を迎え、総勢35名というかつてない大世帯となりました。從来通りの練習方式ではやつていけず

練習開始を2グループに分けたり、レギュラーコースをとる等の工夫をしています。また、全員が4種目を泳げるよう練習方法も変えつあります。今年の高専大会では、昨年の総合4位に甘んじることなく上位進出を目指したいと思います。また、個人種目でも昨年3種目で優勝しましたので、今年はさらに優勝を含めて上位入賞を勝ちとりたいと部員一同練習にはげんでいます。

**写 真 部**

我が写真部では、部員は若干名ながら、高専祭及び小文化祭・校内展示会などに体育祭や各学科紹介などの写真を展示すると共に、部員各人がそれぞれの出品時期にあわせて様々な被写体を撮影して展示・出品しています。

今、写真部は活気あるクラブ作りを目指しにがんばっています。

**吹 奏 楽 部**

吹奏楽部は、現在部員数二十五名で、主な活動内容は、入学式・卒業式、高専祭・体育祭等の学校行事、夏祭り、花火大会、市民音楽フェスティバル等の市内の行事、毎年夏休みに行われる合宿と四高専合同演奏会、一月下旬の定期演奏会等です。現在、七月二十八日に久留米で行われる合同演奏会に向け、部員一同、練習に励んでおりますので、よかつたら、聴きに来て下さい。

**英 語 研 究 部**

我がESSクラブは、新たに新入部員7名(女性3名)を加え、全

部員が16名となり、過去5～6年の中では最も多い数を誇っています。Fresh Boys and Girls をキャッチフレーズに、若さで勝負しています。

高専祭には、毎回恒例の英語劇を今年は大規模に行いたいと思っています。皆様方、我々の高専祭での活躍を期待していて下さい。

よろしくお願ひ致します。

**自動車工学研究部**

自動車工学研究部は、車・バイクを乗りまわすクラブではなく、基本的な車の教習をしたり、車のエンジンや部品を分解・組立を行い、構造を勉強するクラブです。今年は、高専祭に向けて、部員20名をいくつかのグループに分け、バギーカー・ユニークな車・バイクを製作し、高専祭を盛り上げようと思い頑張っています。

**高周波研究部**

高周波研究部は、現在、7・21・144・430MHz帯を中心としたQS-Oや新しいアンテナの設計や製作を試みていますし近年では外国局との交信にも力を入れて技術の向上とコミュニケーションもはかっています。又、JARL主催の無線コンテストにも積極的に参加していく、免許保持者は、さらに上級アマ無線技士めざして一生懸命がんばっています。

**天文部**

私たち天文部は月～二回程度の夜間の天体観測を中心に活動し

天候に恵まれず、思うように成果が上がつていません。今年度からは多少方針をかえて夜間の天体観測と放課後の勉強会の両立を目指し活動するようになります。

少しでも興味がある人は、一度部屋へ遊びに来て下さい。

**漫画研究部**

私達漫研は部員が非常に少いのです。こんなマイナーなクラブは所詮細々と生きていくしかない。だが、私達新生漫研部員はそのような状況に屈せらず部の拡大発展のために頑張っています。そして、そのために会誌の発行を予定し、さらに高専祭でのアニメの製作などももぐろんでいます。というわけで、みんな漫研に入ろうぜ。ちなみに部室は選択棟と機械科棟との間のプレハブにあります。

**コンピューター研究部**

我々、コンピューター研究部は6年目を迎えるにあたって、部員のレベルアップを目指し、毎日、勉強に励んでいます。今年は文化祭の年で、部員一同毎日がんばっています。部員は30名ちかくいます。これから時代は、コンピュータ一を扱えることが社会の常識となっていくと思います。クラブ活動をやつてない人は一度コンピュータークラブを見学に来て下さい。いつしょに学ぼうではありますか。

# 高専体育大会予告

## 第24回九州地区

### 第14回九州地区高専

#### ハンドボール大会

有明高専だより

昭和62年6月25日

- 陸上競技 7月18日・19日  
佐世保市総合グラウンド
- ソフト庭球 7月18日・19日  
同右 庭球場
- 剣道 7月18日  
佐世保市振興会体育館
- 水泳 7月18日  
佐世保市総合グラウンド
- 硬式野球 7月18日・19日  
Ⓐ九州大学グラウンド  
Ⓑ福岡教育大学グラウンド
- バスケットボール 7月18日・19日  
北九州市立小倉南体育館
- 卓球 7月18日・19日  
北九州高専体育館

- |    |          |     |                      |
|----|----------|-----|----------------------|
| 期日 | 7月19日    | 会場  | 八代市総合体育館             |
| 会場 | 八代市総合体育館 | 参加校 | 有明・北九州・都城・八代・鹿児島     |
| 会場 | 八代市総合体育館 | 参加校 | 佐賀・唐津・佐伯・大分・熊本       |
| 会場 | 八代市総合体育館 | 参加校 | 久留米・有明・八代・北九州・都城・鹿児島 |
| 会場 | 八代市総合体育館 | 参加校 | 宇部・新居浜・高知            |

### 第17回西日本地区

#### 高専弓道大会

世話校 高知高専

会場 高知市矩徳館

会場 久留米・有明・八代・北九州・都城・鹿児島

・宇部・新居浜・高知



- |    |                      |     |                      |
|----|----------------------|-----|----------------------|
| 期日 | 7月24日                | 会場  | 久留米・有明・八代・北九州・都城・鹿児島 |
| 会場 | 久留米・有明・八代・北九州・都城・鹿児島 | 参加校 | 佐賀・唐津・佐伯・大分・熊本       |
| 会場 | 久留米・有明・八代・北九州・都城・鹿児島 | 参加校 | 宇部・新居浜・高知            |

### 第3回九州地区

#### 高専硬式庭球大会

- |    |               |     |             |
|----|---------------|-----|-------------|
| 期日 | 7月18日・19日     | 会場  | 久留米高専       |
| 会場 | 久留米総合スポーツセンター | 参加校 | 久留米県立テニスコート |
| 会場 | 久留米総合スポーツセンター | 参加校 | 北九州・久留米・有明  |
| 会場 | 久留米総合スポーツセンター | 参加校 | 佐世保・八代・熊本   |
| 会場 | 久留米総合スポーツセンター | 参加校 | 大分・都城・鹿児島   |

- |    |    |      |     |     |     |
|----|----|------|-----|-----|-----|
| 対象 | 一般 | 募集人員 | 25名 | 講習料 | 三千円 |
| 対象 | 一般 | 募集人員 | 20名 | 講習料 | 三千円 |
| 対象 | 一般 | 募集人員 | 20名 | 講習料 | 三千円 |

- |    |    |       |           |
|----|----|-------|-----------|
| 場所 | 本校 | 個人テーマ | 九州の飛躍と有明海 |
| 場所 | 本校 | 個人テーマ | 歴史の見方・好み方 |
| 場所 | 本校 | 個人テーマ | 熱機関一口講    |
| 場所 | 本校 | 個人テーマ | ドイツあれこれ   |
| 場所 | 本校 | 個人テーマ | マイコン入門教室  |
| 場所 | 本校 | 個人テーマ | 中学生       |

- |                 |                  |   |   |   |   |
|-----------------|------------------|---|---|---|---|
| 予算承認            | 各科団              | ト | ト | ト | ト |
| 長紹介             | (M)田中智樹、(E)田代信二、 | ト | ト | ト | ト |
| (C)小川和雄、(E)池田義裕 | ・佐世保・八代・熊本       | ト | ト | ト | ト |
| ○バレーボール         | ・大分・都城・鹿児島       | ト | ト | ト | ト |
| ○柔道             | ・久留米高専第2体育館      | ト | ト | ト | ト |
| ○ラグビー           | ・久留米総合スポーツセンター   | ト | ト | ト | ト |
| ○サッカー           | ・久留米大学医学部グラウンド   | ト | ト | ト | ト |

- |      |                   |      |                   |      |                   |
|------|-------------------|------|-------------------|------|-------------------|
| 日時   | 7月20日(火)～7月24日(金) | 日時   | 7月20日(火)～7月24日(金) | 日時   | 7月21日(火)～7月24日(金) |
| 毎日   | 13時30分～16時30分     | 毎日   | 13時30分～16時30分     | 毎日   | 9時～12時30分         |
| 対象   | 一般                | 対象   | 一般                | 対象   | 中学生               |
| 募集人員 | 25名               | 募集人員 | 20名               | 募集人員 | 30名               |
| 講習料  | 三千円               | 講習料  | 三千円               | 講習料  | 三千円               |

- |            |             |                   |                   |
|------------|-------------|-------------------|-------------------|
| ● 单位について   | ● 历史の見方・好み方 | ● 熱機関一口講          | ● 九州の飛躍と有明海       |
| ● ドイツあれこれ  | ● 历史の見方・好み方 | ● ドイツはタンゴの流行と     | ● 九州の飛躍と有明海       |
| ● マイコン入門教室 | ● 历史の見方・好み方 | ● 共に、ナチスが抬頭して、破滅へ | ● 共に、ナチスが抬頭して、破滅へ |
| ● 中学生      | ● 历史の見方・好み方 | ● の道を歩んで行く。現在の日本を | ● の道を歩んで行く。現在の日本を |
| ● 対象       | ● 历史の見方・好み方 | ● ある。ドイツはタンゴの流行と  | ● ある。ドイツはタンゴの流行と  |

- |              |                    |                    |                    |
|--------------|--------------------|--------------------|--------------------|
| ● 風景絶えて      | ● 貿易摩擦、円高不況とい      | ● やなニュースが氾濫している。   | ● やなニュースが氾濫している。   |
| ● ひそかに風の薰りけり | ● うの見に、貿易摩擦、円高不況とい | ● うの見に、貿易摩擦、円高不況とい | ● うの見に、貿易摩擦、円高不況とい |
| ● 春面         | ● やなニュースが氾濫している。   | ● やなニュースが氾濫している。   | ● やなニュースが氾濫している。   |

## 編集後記

予定通り行われ、無事終了した。

今回、学生会から次のような要望

(1) 目的地で学生会主催の新入生歓迎行事を行う。(クイズ)

(2) 例年、遠足とは別の日にしていいた各科毎の歓迎行事も目的

地であわせて行う。

があり、各科別々に集まれる広い

場所ということから、目的地を三

いた各科毎の歓迎行事も目的

地であわせて行う。

がおり、各科別々に集まれる広い

場所ということから、目的地を三

いた各科毎の歓迎行事も目的

地であわせて行う。